



# JUNO INSTRUMENT

グループA

メンバー 岩木 蓮 堤 映水 本間 諒 増井 康平

## 調査する項目と使用する機器

重力場 : Gravity Science

オーロラ : JADE, UVS, JIRAM

磁気圏 : Magnetometer, JADI, Waves

大気、木星内部 : JIRAM, MWR

## Gravity Science

ドップラー効果を使用し重力場の測定を行う。機体の姿勢を調整してアンテナで地球と通信することができる。

## Magnetometer

二種類の磁力計によりベクトルとスカラーで磁場を調査します。本体から離れた位置に二つずつ搭載することで正確な測定を行います。また、木星磁場の三次元マップの作製を行います。

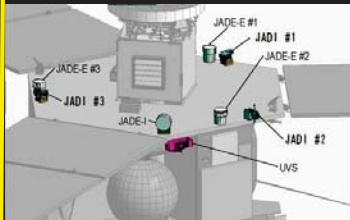


磁力計



## JADE

JADIとUVSと連動してオーロラの調査を行う。電子の測定に3機、イオンの測定に1機搭載している。



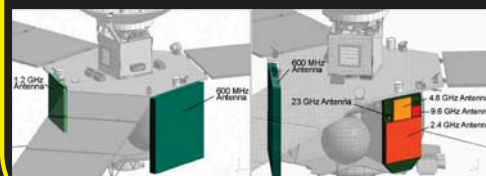
## JADI

主に磁気圏の調査を行う。3機搭載し、電子とイオンの測定をする。



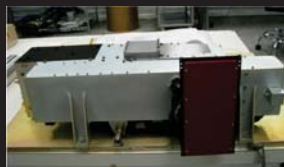
## MWR

異なる波長の6つの放射計を使い木星の雲の下の成分を調査します。



## UVS

紫外線を測定しオーロラの調査を行う。また紫外線でオーロラの撮影を行う。



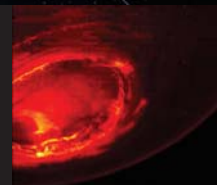
## Waves

下部のアンテナにより磁気圏の磁場を調査し、コイルにより電場を調査します。



## JIRAM

赤外線と分光器により大気の観測を行う。赤外線の波長は2~5μmでオーロラ、水、メタンの測定を行う。



木星オーロラの赤外線画像

## JunoCam



最初の接近時の画像



南極からの画像